

館 報

Sept. 2001

No. 48

The Yokohama National University Library Bulletin

目 次

附属図書館の現在（権上 康男）.....	1
「人と情報の出会いを演出する新しい多機能文化空間の創出」 —中央図書館の増築・改修事業の基本構想—（池上 彰一）.....	3
増築・改修工事に伴い、9月から次のように変更しました。.....	4
2001年度購入中止雑誌一覧	5
2001年度新規購入雑誌一覧	6
図書館に関する会議・主要日誌・職員の動向	7

附属図書館の現在

権 上 康 男

横浜国立大学附属図書館は、しばらく前から見えにくくなってはいないだろうか。それはキャンパス内の樹木の成長や建物の増加によって、物理的にも目立ちにくくなっているせいなのか。図書館の「電子図書館化」が進み、利用者と図書資料、それに利用者相互の出会いの場としての図書館の意義が相対的に低下しているということなのか。あるいはまた、図書館が時代に遅れはじめ、大学という共同社会のニーズとの間にズレが生じているということなのか。

これらは近年、私が漠然といただいていた附属図書館にたいする印象と疑問のいくつかである。図書館長の任に就いてからのこの10カ月は、私にとって、わが図書館の現在を確認し、これらの疑問にたいする一定の解答を見つけ出すための、いわば学習期間でもあった。

附属図書館は一昨年から昨年秋にかけて、まずトータルデザインを策定し、次いで中央図書館の増築・改修のための基本計画を策定した。私の図書館長就任はそうした一連の基礎的作業が終了した直後のことであった。その後、幸いにして増築・改修の予算化が実現し、実施設計も終り、いよいよこれから増築・改修のための工事が始まろうとしている。新しく生まれ変わる中央図書館には、メディアホール、グループ学習室、カフェラウンジなどが配置されることになってい

る。また建築構造物としての中央図書館は、館内から館外が、また館外からは館内が見通せる、館内・館外一体型の空間として設計されている。かつての図書館といえば、時代を感じさせる建物、ほの暗い、静謐さのみを追求したかのような館内、閲覧スペースと書庫スペースを基本とする施設構成——こういったところが通り相場であった。常盤台キャンパス統合以前のわが附属図書館はまさにそのようなものであったし、他の日本の大学図書館も大方はそうであった。そういえば、その昔、私が留学中に足繁く通ったパリのフランス国立図書館については、近くに手ごろなレストランがなく、昼食時には、空腹をこらえつつ、メトロで往復1時間余りをかけて学生食堂に通ったという苦い思い出がある。1年半後に誕生する中央図書館はこうした古典的な図書館とは明らかに異なる。

新しい図書館はいったいどのような歴史のコンテキストに位置づけて理解したらよいのだろうか。内外の公共図書館や大学図書館に関するさまざまな情報からは、図書館には新しい波が押し寄せ、ここ十数年来、各地で施設の新設、増築あるいは改修が進んでいることがうかがえる。新しい図書館は、大型の閲覧スペース、メディアホール、カフェやレストラン、アメニティ・スペース、あるいはグループ学習室を備えてい

る点でほぼ共通している。イギリスのブリティッシュ・ライブラリーしかり、ミッテラン大統領がその建設に国威を賭けたといわれるフランス国立図書館新館しかり。日本の公立図書館、大学図書館の多くもしかりである。フランス国立図書館新館の場合には、2つの巨大なメディアホールの他に、植物園を思わせるような、巨木が林立する広大な中庭が地下に配置されていることでも異彩を放っている。

こうした新しい波は、1960年代以降にわれわれの周辺で生じたさまざまな変化を抜きにしては考えられない。住宅や都市環境の著しい変化とそれとともなうライフスタイルの変化、高等教育の普及、加速化する電子情報化、等々。また、建築技術や建築素材の進歩、公共建築物の様式やコンセプトの変化も無視できない。古典型図書館は、今日では、19世紀とその延長上にあるライフスタイルや建築様式・技術の所産であったとみたほうがよさそうである。それは何よりも少数の社会的エリートを対象とする施設であり、それゆえにその歴史的役割を終えざるを得なかったものである。

いいかえれば、新しい文化や文明をめぐる状況のなかで、図書館は、近年「情報センター」などに名称変更したものをも含めて、いずこにおいても、新たな機能を貪欲に取り込みつつ、人と情報、人と多様な文化、人と人の、それぞれ出会いの場として再生しつつあるのである。ひところ図書館が電子ネットワークの中に単純に溶解してしまうかのような議論が一部の人々によってなされたことがあったが、明らかに、現実はこのようには進んでいない。アメリカ図書館協会は1980年に、図書館に「情報と思想のフォーラム」なる定義を与えているが、「フォーラム」とはこの場合、観念的なものでもあり物理的な空間でもあるということになる。

横浜国立大学附属図書館はこのような図書館をめぐる新しい流れに掉さし、さらにその先を行こうとするものである。新たに加わる機能をどう実現するか。これは、図書館職員の側の取組みもさることながら、多くは利用者である大学の構成員、さらにこれから増えであろう地域社会の利用者との協働作業に大きく依存することになるはずである。これこそが新しい図書館のコンセプトなのである。

大学図書館には、今日、教育面でも新しい役割が期待されている。いわゆる「情報リテラシー教育」の支援である。いうまでもなくその背景には、大学の大衆化、電子媒体の普及やグローバル化によって加速化する情報量の増大と情報の多様化などがある。情報へのアクセスやその活用方法にも図書館が積極的にかかわる必要性が生じているのである。時代と利用者のニー

ズに密着した情報リテラシー教育にどのようにかかわるか。情報をめぐる環境変化の速さからして、この種の教育には固定的な人員による固定化された施設での画一的な教育はなじまないように思われる。求められているのはフレキシブルでかつ機動性に富んだ教育スキームであろう。この課題への取組みは、今後の附属図書館事業のなかでも戦略的な位置を占めるような予感がある。

学術情報はグローバル化と高速化の歩みを止めないであろうし、電子を媒体とする情報検索や（雑誌の）論文全文データベースはその威力をさらに増すであろう。それだけに、電子ジャーナルの導入は大学図書館にとって今後ますます重要な意味をもつことになると考えられる。

電子ジャーナルは、その誕生の初発から、大学図書館にさまざまな問題を投げかけている。問題の多くは、オンラインで提供されるというこの種のジャーナルの特性とともに、図書館が対峙するジャーナルの供給者が国内市場を活動の場とする出版社や流通業者ではなく、グローバル市場で活動する、数百タイトルあるいは千タイトルをも超える学術雑誌を傘下にもつ寡占型出版社であることに由来している。これらの企業は提携や統合を繰り返すダイナミックな企業であり、また、購入契約に際して図書館当たりの年間最低購入金額を設定したり複数年にまたがる継続購入を求めるなど、寡占企業特有の販売・市場戦略を展開する企業でもある。このために図書館も、望むと望まざるにかかわらず、寡占化されたグローバル市場に一個のアクターとして足を踏み入れざるをえない。したがってまた、そうした市場につきものの変動に付き合わざるを得ないだけでなく、自らも市場にたいして一定の戦略をもって臨むことが求められる。国立大学の図書館はコンソーシアムを結成し、その加盟館として電子ジャーナルの導入契約を結ぶケースが増えているが、それは新たな現実にたいする大学図書館の一つの対応を意味している。しかし他方で、そうした対応は、資料の大学間共同利用のあり方、学内における経費負担や購入資料の選定のあり方にも影響を及ぼさざるを得ない。当面は試行錯誤を続けるしかないであろうが、この試行錯誤を通じてそれぞれの大学図書館、ひいては大学は自らの戦略を構築することを求められているのである。電子ジャーナルをめぐる問題の新しさはこのような課題を個々の大学図書館に突きつけている点にあるといつてよいであろう。

附属図書館の古典時代はさまざまな部面で過去のものとなりつつあり、目下、大きな変革の真っ只中にあるのである。

（ごんじょう やすお 附属図書館長・経済学部教授）

「人と情報の出会いを演出する新しい多機能文化空間の創出」

- 中央図書館の増築・改修事業の基本構想 -

池 上 彰 一

はじめに

この度平成12年度補正予算と13年度予算が認められ、中央図書館の増築・改修事業に着手できる運びとなった。

この増築・改修は長年の懸案であり、歴代の館長のもと附属図書館の将来構想とそのための施設整備の在り方の検討を進めてきた。その成果は平成12年3月に「附属図書館のトータルデザインに関する調査研究プロジェクト調査研究報告書」として将来構想の大綱がまとめられた。また、同年10月にはその構想をさらに増築・改修に向けて具体化した「横浜国立大学中央図書館施設基本計画」が附属図書館運営委員会の下に組織された「附属図書館施設基本計画ワーキンググループ」によって策定され、附属図書館運営委員会によって承認された。

なお、施設基本計画策定のワーキンググループには、委員の先生方の他にオブザーバーとして施設部、それに協力者として本学卒業生の建築家と在学中の建築学専攻の学生等多数の皆さんにご参加いただいた。

増築・改修事業は、この施設基本計画を踏まえて平成13年7月に着手し、平成14年度中のリニューアルオープンを目指している。

中央図書館の増築・改修の必要性・緊急性

中央図書館の建物床面積は、文部科学省が学部・大学院の学生数や全学の蔵書冊数等の大学の規模に基づいて定める基準面積（資格面積）の約3分の2程しかないため、新しい情報化時代に即した図書館サービスの展開のための多様な機能空間の創出や、増え続ける学術資料の保存のためのスペースの確保に苦慮してきた。そのため増築・改修は緊急の課題となっていた。また、今日の国立大学の大改革を背景にして、個性が輝く大学を目指す本学の動きの中で、附属図書館は、教育・研究を支援する役割を充分に果たすため、大胆な改革を速やかに推進していくことが強く求められている。この度の増築・改修は、それに呼応するに時宜をえたものである。

増築・改修の基本方針

図書館は、学生のキャンパスライフの拠点として、本学の全構成員の文化的交流の場として機能するため、増築・改修の基本理念を「人と情報の出会いを演出する新しい多機能空間の創出」とし、次の3点の実現を目指す。

①学内外の情報関連機関と有機的に連携し情報発信

基地・加工基地、そして本学構成員の文化的交流の場の創出

②学生や教官の利用形態の変化に応じ、使いやすく多様な機能空間を柔軟に創出し、知的創造活動の中核となるよう常に変貌していくことを目指す施設

③施設改善のポイントは特に次の4点を意識する

- i 多様な利用空間
- ii 快適で使いやすいアメニティ空間、ユニバーサルデザイン
- iii 国際情報・交流空間
- iv 紙資料と電子資料が共存するメディアミックス空間

施設・設備計画の考え方

特に以下の点を重点的に配慮した施設・整備計画とする。

- ①キャンパスの中央に位置する文化的交流空間としての施設を目指す。
- ②資料・情報の使いやすさに配慮した快適空間とするとともに、近年の学生のライフスタイルにあわせた空間バリエーションを用意する。また、利用者の多様なニーズにあわせた光あふれる空間と落ち着いた空間を調和的に配慮する。
- ③ユニバーサルデザインを採用し、セキュリティ及び省エネルギーに配慮した建物とする。
- ④総合情報処理センターとの機能的な連携を強化できるよう施設的に配慮する。
- ⑤新中央図書館における資料の収蔵能力、閲覧座席、館内の利用者パソコンについては、おおよそ以下を目処にする。
 - i 資料の収蔵能力：収容可能冊数86.1万冊（現在の1.7倍で、ほぼ15年にわたる資料の増加に対応）
 - ii 閲覧座席：1,116席（現在の約1.7倍）
 - iii 利用者パソコン：20台程度のクラスタ3～4箇所設置、情報コンセント50台程度、無線LAN50台程度を設置

新中央図書館の構成

〔建物の配置及び規模〕

中央図書館は、1号館（3,957㎡）と2号館（3,492㎡）に分離している既存の中央図書館を改修するとともに、既存部分の西側（総合情報処理センター側）を中心に約4,600㎡増築し、両者を一体化した建物（約

12,000㎡)とし、情報処理教室棟と接続する。

〔新中央図書館の各階の構成〕

新中央図書館は、地上4階建てで階層を重ねるごとに動から静へ、サロンの空間からアカデミックな雰囲気へ誘うよう設計される。1階はメインストリートと一体的に利用される構成でオープンカフェやメディアホールのある《フリーフロア》、2階は図書館のメインフロアでメインゲート、メインカウンターとレファレンスメディアスペースを配置した《アクティブフロア》、3階は主に開架図書が中心を占める学生のための《ラーニングフロア》、4階は静謐な環境の研究者のための《アカデミックフロア》として位置づけるという構成となる。

おわりに

この増築・改修は、建物の全面建て替えと同程度の大規模な工事となると予想される。図書館としては、工事期間中の図書館サービスの内容が低下しないようにできるだけの努力をするが、利用者の皆さんにはしばらくの間不便に耐えていただかなければならない。図書館の利用そのものが不便になるだけでなく、キャンパスの中央に位置する建物の工事であるので工事の騒音、工事車両の進入等でご迷惑をおかけすることになる。また、周辺の交通規制、駐車場の利用制限なども出てくる。しかし装い新たに新図書館が誕生するまでのあいだご辛抱いただき、全学の皆様のご協力をお願いしたい。

(いけがみ しょういち 附属図書館事務部長)

新図書館イメージ図



増築・改修工事に伴い、9月から次のように変更しました。

◆中央図書館の図書、雑誌の一部を理工学系研究図書館に移動しました。

移 動 し た 資 料	OPAC上での表示
開架図書の哲学、宗教、自然科学、医学・薬学、技術・工学・工業、家政学・生活科学、総記（知識・学問一般、情報科学など）関係の図書	所在：図1-2F開架で 請求記号：0,1,4,5で始まるもの
大型開架図書	所在：理図大型開架（赤）
新着雑誌（過去約1年分）	所在：図1-3F新着雑誌室
国際交流コーナーの図書、雑誌、パンフレット	所在：理図国際交流コーナー

（注：図1-2Fは中央図書館1号館2階を意味します。）

- ◆中央図書館2号館への立ち入りができなくなりました。書庫及び特別閲覧室内の資料の利用については、申し込み制（申込先：メインカウンター（内線3219））にて受け付けます。但し、一部利用できない資料及び、利用できない期間が発生します。
- ◆社会科学系研究図書館の資料の一部（旧分類図書）が利用できなくなりました。
- ◆中央図書館1階メインストリート側の入り口が閉鎖され、2階入り口（教育人間科学部側）のみとなりました。
- ◆理工学系研究図書館前のプレハブ棟2階に臨時の閲覧室を設置しました。授業期間中の平日9:00～21:00の間、利用ができます。
- ◆事務室関係では、プレハブ1階に情報管理課が移転しました。新着雑誌及び消耗品扱い図書の研究室等への引き渡しはプレハブ内で行います。各係その他の電話番号は変更ありません。

2001 年度購入中止雑誌一覧

- | | | | |
|----|--|-----|--|
| 1 | ASC II network pro | 62 | Classical and quantum gravity |
| 2 | e とらんす | 63 | Cognition |
| 3 | MAC fan beginners | 64 | College English |
| 4 | Network magazine | 65 | Consumer interests annual |
| 5 | Poetica | 66 | Consumer news & reviews |
| 6 | SD: スペース・デザイン | 67 | Council chronicle |
| 7 | Wedge | 68 | Director |
| 8 | 晨 | 69 | Les dossiers de la DARES |
| 9 | エイズリポート | 70 | The Drama review |
| 10 | おもしろ健康教材 | 71 | Electrochemical and solid-state letters |
| 11 | 科学新聞 | 72 | The Electrochemical Society interface |
| 12 | 環境新聞 | 73 | Engineering fracture mechanics |
| 13 | 季刊環境研究 | 74 | Epilepsia |
| 14 | 教育医事新聞 | 75 | European journal of biochemistry |
| 15 | 月刊地方分権 | 76 | European journal of organic chemistry |
| 16 | 国際商業 | 77 | The European physical journal. D, Atomic, molecular and Optimization |
| 17 | 実験医学 | 78 | L'événement du jeudi |
| 18 | 小児科診療 | 79 | Export credit financing systems in OECD |
| 19 | 小児看護 | 80 | Financial executive |
| 20 | 性と生の教育 | 81 | Fresenius' journal of analytical chemistry |
| 21 | 地方教育史研究 | 82 | Hospitals & health networks |
| 22 | 日経MAC | 83 | Human nature |
| 23 | 日本教育史研究 | 84 | Hydrocarbon processing |
| 24 | 日本の教育史学 | 85 | I & CS |
| 25 | 人間工学 | 86 | Industrial & engineering chemistry research |
| 26 | 判例地方自治 | 87 | Inorganic chemistry |
| 27 | 比較文学研究 | 88 | International encyclopaedia for labour law and industrial relations |
| 28 | ファイナンス | 89 | International journal of behavioral development |
| 29 | 保健室 | 90 | International journal of fracture |
| 30 | まちの雑誌 NPO マガジン | 91 | International journal of heat and mass transfer |
| 31 | 水情報 | 92 | International journal of multiphase flow |
| 32 | 理論と方法 | 93 | The Journal of American history |
| 33 | 臨床精神薬理 | 94 | Journal of biological chemistry |
| 34 | Advancing the consumer interest | 95 | The Journal of chemical physics |
| 35 | Advertising age | 96 | Journal of chemical and engineering data |
| 36 | Ageing and society | 97 | Journal of chemical research. Miniprint |
| 37 | AICh Extra | 98 | Journal of chemical research. Synopses |
| 38 | AIChE journal | 99 | Journal of chromatographic science |
| 39 | American Alpine journal | 100 | Journal of climate |
| 40 | The American journal of psychiatry | 101 | Journal of colloid and interface science |
| 41 | American theatre | 102 | The Journal of consumer affairs |
| 42 | ANBAR accounting & finance abstracts | 103 | Journal of consumer studies and home economics |
| 43 | Animal behaviour | 104 | Journal of Euro-marketing |
| 44 | Archives of pediatrics & adolescent medicine | 105 | Journal of family psychotherapy |
| 45 | Behaviour | 106 | The Journal of financial research |
| 46 | Behaviour research and therapy | 107 | Journal of linguistics |
| 47 | Brain, behavior and evolution | 108 | Journal of lipid research |
| 48 | Bulletin of the Seismological Society of America | 109 | Journal of membrane science |
| 49 | Business periodicals index | 110 | Journal of non-crystalline solids |
| 50 | CA select. Photochemistry | 111 | The Journal of organic chemistry |
| 51 | The Canadian journal of chemical engineering | 112 | Journal of polymer science. Polymer chemistry edition |
| 52 | The Canadian journal of linguistics | 113 | Journal of polymer science. Polymer physics edition |
| 53 | Chemical engineering | 114 | Journal of polymer science. Pt. A, Polymer chemistry |
| 54 | Chemical engineering progress | 115 | Journal of polymer science. Pt. B, Polymer physics |
| 55 | Chemical engineering research & design | 116 | Journal of pure and applied algebra |
| 56 | Chemical engineering science | 117 | Journal of social and evolutionary systems |
| 57 | Chemical innovation | 118 | The Journal of supercritical fluids |
| 58 | Chemical titles | 119 | Journal of the atmospheric sciences |
| 59 | Chemistry in Britain | 120 | Journal of the Electrochemical Society |
| 60 | Chemistry in Europe | 121 | Journal of the Market Research Society |
| 61 | Chemistry of materials | | |

122	Journal of the mechanics and physics of solids	148	Public understanding of science
123	Linguistics	149	Quarterly of applied mathematics
124	Machine design	150	Revue d'economie industrielle
125	Macromolecular chemistry and physics	151	Risk measurement service
126	Macromolecular rapid communications	152	Russian chemical reviews
127	Macromolecular theory and simulations	153	Science, technology & human values
128	Magazine of history	154	The Stage
129	Magnetic resonance in chemistry	155	Statistics & probability letters
130	Max Planck yearbook of United Nations law	156	Symbiosis
131	Mergers & acquisitions	157	Synthesis
132	Mitteilungsblatt	158	Systems research and behavioral science
133	Modern drama	159	Technical physics
134	Neuropsychologia	160	Tetrahedron letters
135	New theatre quarterly	161	Theatre record
136	Nordisk museologi	162	Time out
137	La nouvelle revue française	163	Transfer pricing guidelines for multinational enterprises
138	OA H annual meeting program	164	Trends in ecology & evolution
139	OA H newsletter	165	The United States patents quarterly
140	The Philosophical magazine letters	166	Die Verwaltung
141	Physics letters. B	167	Weimarer Beiträge
142	Physics today	168	World Englishes
143	Plays and players applause	169	Zeitschrift Führung + Organisation
144	Plays international	170	Zeitschrift für Naturforschung. Teil B, Anorganische Chemie
145	Political affairs	171	Автоматика И Телемеханика
146	Psyche	172	Банковское Дело
147	Public relations tactics		以上のタイトルは、学内全体として購入を中止したものです。

2001 年度新規購入雑誌一覧

1	Casa Brutus	35	発 達
2	GIS Japan	36	防災情報新聞
3	Journal of marine science and technology	37	流通研究
4	MDN	38	人力資源開発と管理
5	Medical Technology	39	中外文学
6	Interface = インターフェース	40	中国国際私法と比較法年刊
7	エネルギーフォーラム	41	覆印報刊資料 中小学校管理
8	ガバナンス	42	聯合文学
9	季刊特別支援教育	43	Advances in consumer research
10	経済産業統計	44	American journal of health education
11	月刊店舗	45	Artnews
12	国際人権	46	Australian journal of adult and community education
13	戸籍時報	47	Cladistics
14	コリアンマイノリティ研究	48	Discrete and continuous dynamical systems. ser. B
15	時事英語 = Current English	49	Economic and political weekly
16	社会科教育研究	50	Economic systems
17	社会科研究	51	Educational gerontology
18	証券アナリストジャーナル	52	Environment and history
19	書道美術新聞	53	European journal of teacher education
20	新聞ダイジェスト	54	Feminist review
21	正 論	55	Harper's bazar
22	世界環境規制ニュース	56	Harvard civil rights-civil liberties law review
23	装苑別冊	57	Haushalt und Bildung
24	地方自治	58	Human resource management review
25	中国経済情報研究会員資料	59	Human resource planning
26	中国合弁企業リスト	60	IEEE circuits and systems magazine
27	中国対外貿易統計	61	IEEE microwave and wireless components letters
28	中国データファイル	62	IEEE sensors journal
29	日経インターネットテクノロジー	63	International journal of consumer studies
30	日経Network	64	International journal of health promotion and education
31	日経マイクロデバイス	65	International journal of production economics
32	日本建築学会東北支部研究報告集 計画系/構造系	66	International review of finance
33	日本農芸化学会誌	67	International studies perspectives
34	農村生活研究	68	Japanese economic review

69 Journal of economic geography
 70 Journal of government financial management
 71 Journal of international economic law
 72 The Journal of international taxation
 73 Journal of productivity analysis
 74 Journal of statistical physics
 75 Kritische Justiz
 76 Latin American politics and society
 77 Leadership and management in engineering
 78 Maastricht journal of European and comparative law
 79 Macroeconomic dynamics
 80 Marie Claire - UK ed.
 81 Medical law review
 82 Medienwissenschaft
 83 Microscale thermophysical engineering
 84 Museum news

85 Newsweek - US ed.
 86 Nonlinear analysis
 87 LeNouvel observateur
 88 OECD journal on budgeting
 89 L'Oeil
 90 Research dialogue in learning and instruction
 91 Revue générale de droit international public
 92 SIAM journal on computing
 93 Signs
 94 Studia linguistica
 95 Syntax
 96 The tax lawyer
 97 Кузнецово-Штамповочное Производство
 以上のタイトルは、学内全体として新規に購入したものです。

図書館に関する会議

(平成12年9月1日～平成13年6月30日)

運 営 委 員 会

平成12年度第3回(平成12年9月29日)

<審議事項>

- 1) 平成13年度の電子ジャーナルサービスについて

平成12年度第4回(平成12年10月26日)

<審議事項>

- 1) 附属図書館図書館施設基本計画について

平成12年度第5回(平成12年11月17日)

<審議事項>

- 1) 附属図書館図書館施設基本計画について
- 2) 情報リテラシー教育について

平成12年度第6回(平成13年1月19日)

<審議事項>

- 1) 平成14年度概算要求について
- 2) 平成13年度特別経費の要求について

平成12年度第7回(平成13年3月16日)

<審議事項>

- 1) 平成14年度概算要求について
- 2) 一般市民利用への対応要項の一部改正について
- 3) 横浜国立大学高等学校生徒向け公開講座受講生の附属図書館利用について
- 4) 平成13年度附属図書館開館日程について

平成13年度第1回(平成13年5月9日)

<審議事項>

- 1) 平成13年度附属図書館運営委員会議長代行者の

選出について

- 2) 平成13年度附属図書館事業計画について
- 3) 平成14年度電子ジャーナルの利用について
- 4) 附属図書館における情報リテラシー教育について
- 5) 大学評価「教育サービス面における社会貢献」について
- 6) 平成13年度附属図書館図書館資料選定小委員会の設置について
- 7) 平成13年度教育研究高度化経費の要求について

図書館資料選定小委員会

平成12年度第2回(平成12年10月20日)

<審議事項>

- 1) 平成12年度研究図書収書計画の策定について
- 2) 平成12年度古典・叢書類収書計画の策定について

平成12年度第3回(平成13年2月16日)

<審議事項>

- 1) 平成13年度大型コレクション収書計画の策定について
- 2) 平成13年度自然科学系図書資料収書計画の策定について
- 3) 教官の転任に伴う附属図書館資料の管理換について

附属図書館における情報リテラシー教育のあり方に関するワーキング・グループ会議

平成13年度第1回(平成13年6月14日)

<議 事>

- 1) 平成12年度総合領域「知の回廊」の評価について

2) 附属図書館における情報リテラシー教育のあり方について

6.26-28 第48回国立大学図書館協議会総会(北海道大学)

主要日誌

(平成12年9月1日～平成13年6月30日)

- 10.13 「大学図書館研究」編集委員会(東京工業大学)
 10.19 日本図書館協会大学図書館部会(一橋大学)
 11.21-22 第13回国立大学図書館協議会シンポジウム(筑波大学)
 12.1 日本図書館協会大学図書館部会(一橋大学)
 12.13 神奈川県図書館協会第2回理事会(横浜市教育会館)
 12.15 神奈川県図書館協会大学図書館問題調査研究委員会(神奈川大学)
 H13.1.25 国立大学附属図書館事務部長会議(徳島大学)
 1.23 「大学図書館研究」編集委員会(東京工業大学)
 2.21 神奈川県図書館協会広報委員会(神奈川県立図書館)
 2.23 日本図書館協会大学図書館部会(一橋大学)
 3.15 神奈川県図書館協会第3回理事会(もみじ坂会館)
 3.19 神奈川県図書館協会大学図書館問題調査研究委員会(相模女子大学)
 3.23 日本図書館協会大学図書館部会(一橋大学)
 3.27 神奈川県内大学図書館相互協力協議会(専修大学)
 4.20 第57回関東地区国立大学図書館協議会総会(前橋)
 4.27 神奈川県図書館協会第1回理事会及び総会(神奈川県立図書館)
 5.9 神奈川県図書館協会大学図書館委員会(鶴見大学)
 5.10 日本図書館協会大学図書館部会(一橋大学)
 5.24 神奈川県内大学図書館相互協力協議会(専修大学)
 5.29 国立大学附属図書館事務部・課長会議(東京医科歯科大学)
 6.13 神奈川県図書館協会広報委員会(神奈川県立図書館)
 6.19 SDコンソーシアム立ち上げ(千葉大学)
 6.22 日本図書館協会大学図書館部会(一橋大学)

職員の動向

(平成12年9月1日～平成13年6月30日)

転入

- (11月1日付)
 館長 権上康男
 (2月1日付)
 情報サービス課資料サービス係
 (新採用) 刀根愛
 (4月1日付)
 情報サービス課長
 (文部科学省生涯学習推進課) 貴村好隆
 情報管理課雑誌管理係
 (新採用) 小野寺千生
 情報サービス課資料サービス係
 (新採用) 小塚聡子
 (5月16日付)
 情報管理課総務係
 (新採用) 加賀裕美
 (6月1日付)
 情報サービス課相互協力係
 (新採用) 釧先千文

館内異動

- (4月1日付)
 情報管理課長
 (情報サービス課長) 青木利根男

転出

- (4月1日付)
 高エネルギー加速器研究機構
 (情報管理課長) 牧村正史

退職

- (1月9日付)
 (情報サービス課資料サービス係) 平松誠史
 (2月28日付)
 (情報管理課雑誌管理係) 山本通枝
 (3月31日付)
 (情報サービス課資料サービス係) 高山啓子
 (4月30日付)
 (情報サービス課相互協力係) 服部友子

横浜国立大学附属図書館 館報 No. 48 平成13年9月1日

発行所 横浜国立大学附属図書館 編集 附属図書館広報委員会

〒240-8501 横浜市保土ケ谷区常盤台79番6号 電話 045-339-3204

ホームページ URL=http://www.lib.ynu.ac.jp/